

国公立大 2012年度センター試験 地歴・公民、理科2科目受験者の成績利用について

2011年12月14日現在判明分

【一覧表の見方】

表は、2012年度センター試験において、「理科」「地歴」「公民」を1科目課す場合、2科目受験者の成績利用方法についてまとめたものです。「高得点科目」は2科目のうち高得点科目を利用、「出願時自己選択」は出願時に指定した科目を利用、「第1解答科目」は2科目のうち第1解答科目に解答した科目を利用、を表します。「-」はその教科を課していないか2科目必須を表します。

【解説】

2012年度センター試験より、「理科」「地歴」「公民」の試験実施方法が変更になります。2科目受験者については、2科目を120分で解答することとなります。ただし、新しい実施方法では1科目を120分使って解答することも不可能ではありません。

そこで、このようなケースを防ぐための措置として、大学入試センターから2科目受験者については「第1解答科目の成績を利用」するよう各大学へ要請されました。なお、最終的な成績利用方法はあくまでも各大学の判断に委ねられています。

よって、「理科」「地歴と公民」の成績利用方法は、これまで通りの「高得点科目を利用する」のほか、「第1解答科目を利用する」の2通りが考えられます。本表では各大学の成績利用方法についてまとめました。

なお、既に「高得点科目を利用する」と発表している大学においても、大学入試センターの要請に伴い変更される可能性がありますのでご注意ください。

大学名	理科		地歴と公民		備考
	第1解答科目	高得点科目	第1解答科目	高得点科目	
旭川医科	-	-	○		
小樽商科	○		○		
帯広畜産	-	-	○		
北見工業	-	-	○		
釧路公立	-	-		○	
公立はこだて未来			-	-	理科は出願時自己選択した科目
札幌医科	○		○		
札幌市立		○		○	
名寄市立		○		○	
北海道	○		○		
北海道教育	○		○		
室蘭工業	-	-	○		
青森県立保健		○		○	
青森公立	-	-	○		
弘前	○		○		
岩手	○		○		教育-美術・デザインは、高得点3科目に地・公の2教科が含まれる場合に限り、地・公の2教科利用を認める
岩手県立		○		○	
東北	○		○		
宮城		○		○	
宮城教育	○		○		
秋田	○		○		
秋田県立	○		○		
国際教養		○		○	
山形	○		○		地域教育文化-造形芸術は、数・理未受験の場合に限り、地・公の2教科利用を認める
山形県立保健医療	○		○		
会津		○	-	-	
福島		○		○	
福島県立医科	○		○		
茨城	○		○		
茨城県立医療	-	-		○	
筑波	○		○		
筑波技術	-	-	-	-	
宇都宮	○		○		
群馬	○		○		
群馬県立県民健康科学	○		-	-	
群馬県立女子		○		○	
高崎経済	○		○		
前橋工科		○	-	-	
埼玉	○		○		
埼玉県立		○		○	
千葉	○		○		
千葉県立保健医療		○		○	
お茶の水女子	○		○		
首都大学東京	○		○		
電気通信	-	-	○		
東京	○		○		
東京医科歯科	○		○		

大学名	理科		地歴と公民		備考
	第1解答科目	高得点科目	第1解答科目	高得点科目	
東京外国語	○		○		前期は地歴1科目必須、理・公民から1科目選択。公民を第1解答科目・地歴を第2解答科目で受験した場合は、理科の受験の有無に関わらず公民の成績を利用
東京海洋	○		○		
東京学芸	○		○※		中等一音楽・美術は「地歴2科目」「公民2科目」受験の場合、第1解答科目を採用
東京芸術	○		○		
東京工業	-	-	○		
東京農工	-	-	○		
一橋	○		○		
神奈川県立保健福祉	○		○		
横浜国立	○		○		
横浜国立	○		○		
上越教育	○		○		
長岡技術科学	-	-	○		
新潟	○		○		
新潟県立	○		○		
新潟県立看護	○		○		
富山	○		○		芸術文化学部後期bは、理、地公の第1解答科目の得点が選択科目中最高得点の場合に限り、第2解答科目の利用を認める
富山県立		○	-	-	
石川県立	○		○		
石川県立看護	○		○		
金沢	○		○		
金沢美術工芸		○		○	
福井	○		○		
福井県立	○		○		
都留文科		○		○	
山梨	○		○		
山梨県立	○		○		
信州	○		○		
長野県看護	○		○		
岐阜	○		○		
岐阜県立看護	○		○		
岐阜薬科	-	-	○		
静岡(人文・社会(前)・言語文化(後))		○		○	
静岡(上記を除く)	○		○		
静岡県立		○		○	
静岡文化芸術		○		○	
浜松医科	○		○		
愛知教育	○		○		
愛知県立(看護)		○		○	
愛知県立(看護を除く)	○		○		
愛知県立芸術		○		○	
豊橋技術科学	-	-	○		
名古屋	○		○		
名古屋工業	-	-	○		
名古屋国立	○		○		
三重	○		○		人文学部後期は、地公の第1解答科目の得点が選択科目中最高得点の場合に限り、第2解答科目の利用を認める
三重県立看護		○		○	
滋賀	○		○		
滋賀医科	○		○		
滋賀県立	○		○		
京都	○		○		
京都教育	○		○		
京都工芸繊維	○		○		
京都市立芸術	○		○		
京都府立	○		○		
京都府立医科	○		○		
大阪	○		○		
大阪教育	○		○		
大阪国立	○		○		
大阪府立	○		○		
神戸	○		○		
神戸市外国語	○		○		
神戸市看護	○		○		
兵庫教育	○		○		
兵庫県立	○		○		

大学名	理科		地歴と公民		備考
	第1解答科目	高得点科目	第1解答科目	高得点科目	
奈良教育	○		○		
奈良県立		○		○	
奈良県立医科	○		○		
奈良女子	○		○		
和歌山	○		○		
和歌山県立医科	○		○		
鳥取	○		○		
島根	○		○		
島根県立	○		○		
岡山	○		○		
岡山県立	○		○		
新見公立		○		○	
尾道市立		○		○	
県立広島	○		○		
広島	○		○		
広島市立		○		○	
福山市立		○		○	
下関市立		○		○	
山口	○		○		
山口県立	○		○		国際文化学部は、他の選択科目未受験の場合に限り、理2科目、地公2科目の利用を認
徳島	○		○		
鳴門教育	○		○		
香川	○		○		
香川県立保健医療	○		○		
愛媛	○		○		法文－人文後期は、理、地公の第1解答科目の得点が選択科目中上位2科目以内の場合に限り、第2解答科目の利用を認める
愛媛県立医療技術		○		○	
高知	○		○		
高知工科	○		○		
高知県立		○		○	
北九州市立	○		○		
九州	○		○		
九州工業	-	-	○		
九州歯科	-	-		○	
福岡教育	○		○		
福岡県立		○		○	
福岡女子	○		○		
佐賀	○		○		
長崎	○		○		
長崎県立	○		○		国際情報－国際交流は、地公の第1解答科目の得点が選択科目中最高得点の場合に限り、第2解答科目の利用を認める
熊本	○		○		
熊本県立	○		○		
大分	○		○		
大分県立看護科学		○		○	
宮崎	○		○		
宮崎県立看護		○		○	
宮崎公立	-	-		○	
鹿児島	○		○		
鹿屋体育	○		○		
沖縄県立看護	-	-	○		
沖縄県立芸術		○		○	
名桜		○		○	
琉球	○		○		